

リモート アクセス VPN の ASA IKEv2 デバッグのトラブルシューティング

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[主な問題](#)

[シナリオ](#)

[debug コマンド](#)

[ASA の設定](#)

[XML ファイル](#)

[デバッグ ログと説明](#)

[トンネルの確認](#)

[AnyConnect](#)

[ISAKMP](#)

[IPSec](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Internet Key Exchange Version 2 (IKEv2) を Cisco AnyConnect モバイルクライアントで使用している場合に、Cisco 適応型セキュリティ アプライアンス (ASA) でのデバッグをどのように理解するかについて説明します。また、特定のデバッグ行を ASA 設定に変換する方法に関する情報も提供します。

このドキュメントでは、ASA に VPN トンネルが確立された後にトラフィックをどのように受け渡すかについては説明せず、IPSec や IKE の基本概念も含まれていません。

前提条件

要件

IKEv2 のパケット交換についての知識があることが推奨されます。詳細については、『[IKEv2 のパケット交換とプロトコル レベル デバッグ](#)』を参照してください。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- インターネット キー交換バージョン 2 (IKEv2)
- Cisco 適応型セキュリティ アプライアンス (ASA) バージョン 8.4 以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

主な問題

Cisco Technical Assistance Center (TAC) では、IPsec VPN トンネルの確立に問題があっても、コマンドが暗号化できる場合を把握するために、IKE や IPsec のデバッグコマンドを頻繁に使用しています。

シナリオ

debug コマンド

```
debug crypto ikev2 protocol 127
debug crypto ikev2 platform 127
debug aggregate-auth xml 5
```

ASA の設定

この ASA 設定では基本中の基本であり、外部サーバを使用しません。

```
interface Ethernet0/1
 nameif outside
 security-level 0
 ip address 10.0.0.1 255.255.255.0

ip local pool webvpn1 10.2.2.1-10.2.2.10

crypto ipsec ikev2 ipsec-proposal 3des
 protocol esp encryption aes-256 aes 3des des
 protocol esp integrity sha-1
crypto dynamic-map dynmap 1000 set ikev2 ipsec-proposal 3des
crypto map crymap 10000 ipsec-isakmp dynamic dynmap
crypto map crymap interface outside

crypto ca trustpoint Anu-ikev2
 enrollment self
 crl configure

crypto ikev2 policy 10
 encryption aes-192
 integrity sha
 group 2
```

```
prf sha
lifetime seconds 86400

crypto ikev2 enable outside client-services port 443
crypto ikev2 remote-access trustpoint Anu-ikev2
ssl encryption 3des-sha1 aes128-sha1 aes256-sha1 des-sha1
ssl trust-point Anu-ikev2 outside

webvpn
enable outside
anyconnect image disk0:/anyconnect-win-3.0.1047-k9.pkg 1
anyconnect profiles Anyconnect-ikev2 disk0:/anyconnect-ikev2.xml
anyconnect enable
tunnel-group-list enable

group-policy ASA-IKEV2 internal
group-policy ASA-IKEV2 attributes
wins-server none
dns-server none
vpn-tunnel-protocol ikev2
default-domain none
webvpn
anyconnect modules value dart
anyconnect profiles value Anyconnect-ikev2 type user

username Anu password lAuoFgF7KmB3D0WI encrypted privilege 15

tunnel-group ASA-IKEV2 type remote-access
tunnel-group ASA-IKEV2 general-attributes
address-pool webvpn1
default-group-policy ASA-IKEV2
tunnel-group ASA-IKEV2 webvpn-attributes
group-alias ASA-IKEV2 enable
```

XML ファイル

```
<ServerList>
  <HostEntry>
    <HostName>Anu-IKEV2</HostName>
    <HostAddress>10.0.0.1</HostAddress>
    <UserGroup>ASA-IKEV2</UserGroup>
    <PrimaryProtocol>IPsec</PrimaryProtocol>
  </HostEntry>
</ServerList>
```

注: XML のクライアント プロファイルの UserGroup の名前は、ASA のトンネル グループの名前と同じである必要があります。同じでない場合は、「Invalid Host Entry. Please re-enter」というエラー メッセージが AnyConnect クライアントに表示されます。

デバッグ ログと説明

注: Diagnostic and Reporting Tool (DART) からのログは些細な内容である場合が多く、この例では無意味であるため、特定の DART のログは省略しています。

サーバ メッセージの説明

ASA がクライアントから IKE_SA_INIT メッセージを受信します。

最初の 1 組のメッセージは IKE_SA_INIT 交換です。これらのメッセージでは暗号化アルゴリズムのネゴ
クライアントから受信した IKE_SA_INIT メッセージには次のフィールドが含まれています。

1. ISAKMP ヘッダー - SPI/バージョン/フラグ
2. SAI1 - IKE の発信側がサポートする暗号化アルゴリズム
3. KEi - 発信側の DH 公開キーの値
4. N - 発信側のナンズ

ASA は

IKE_INIT メッセージを確認し、処理します。ASA は次を実行します。

1. 暗号スイートを発信側が提供したものから選択します。
2. 自身の DH 秘密キーを計算します。
3. この IKE_SA 用のすべてのキーを導出することができる SKEYID 値を計算します。後続のすべてのメッセージのヘッダーが暗号化され、認証されます。これらのモジュールでの暗号化に使用されたキーおよび完全性の保護は、SKEYID から導出され、次のように知られています。

SK_e - 暗号化 **SK_a** - 認証 **SK_d** - CHILD_SAs
の詳細なキー関連情報の
導出のために
導出し、使用 **SK_e** と **SK_a** は
方向ごとに個々に計算されます。

関連コンフィギュレーション

```
crypto ikev2 policy 10
  encryption aes-192 integrity
  sha group 2 prf sha lifetime
  seconds 86400
crypto ikev2 enable outside
```


ASA は IKE_SA_INIT 交換の応答メッセージを作成します。
このパケットには次が含まれます。

1. ISAKMP ヘッダー - SPI/バージョン/フラグ
2. SAr1 - IKE の応答側が選択する暗号化アルゴリズム
3. KEr - 応答側の DH 公開キーの値
4. N - 応答側のナンズ

ASA が IKE_SA_INIT 交換の応答メッセージを送信します。これで IKE_SA_INIT 交換が完了しました。

この認証は、EAP を使用して行われます。EAP のメッセージ交換では、単一の EAP 認証方式だけが許す。

クライアントに IDi ペイロードが含まれていても AUTH ペイロードが含まれていない場合は、クライアントは ID を宣言したものの証明されていないことを示します。デバッグでは、AUTH ペイロードはクライアントから送信される IKE_AUTH パケットにはありません。クライアントの除外は、EAP 交換が正常に行われた後にのみ、AUTH ペイロードを送信します。ASA が拡張認証方式を使用する場合は、EAP ペイロードをメッセージ 4 に配置し、送信側の認証が後続の IKE_AUTH 交換で完了するまで、SAr2、TSi、および TSr の送信を延期します。IKE_AUTH の発信側パケットには、次が含まれています。

1. ISAKMP ヘッダー - SPI/バージョン/フラグ
2. IDi - クライアントが接続したいトンネルグループの名前は、IKE_AUTH 交換の最初の

メッセージのタイプ ID_KEY_ID の IDi ペイロードで提供される場合があります。これは、クライアント プロファイル* がグループ名で事前に設定されているか、前回の正常な認証後に、クライアントが優先順位ファイルのグループ名をキャッシュしている場合に発生します。ASA はトンネルグループ名と IKE IDi ペイロードの内容を一致させようとします。最初に成功した IPsec VPN が確立された後、クライアントはユーザが認証されたグループ名 (グループエイリアス) をキャッシュします。このグループ名は、ユーザが希望した予測グループを示すために、次の接続試行の IDi ペイロードで提供されます。EAP 認証がクライアント プロファイルで指定または示唆されていて、プロファイルに <IKEIdentity> 要素が含まれていない場合は、クライアントは固定文字列 *\$AnyConnectClient\$* を含んだ ID_GROUP タイプの IDi ペイロードを送信します。

3. CERTREQ - クライアントは、優先度の高い証明書の ASA を要求しています。証明書要求ペイロードは、送信側が受信側の証明書を手に入れる必要がある場合に、交換の際に含められる場合があります。証明書要求ペイロードは、プロセッサにこの種の証明書があるかどうかを特定するため、[Cert encoding] フィールドの検査により処理されます。この場合、指定した証明機関のいずれかで検証できる証明書がプロセッサにあるかどうかを特定するために、[Certification Authority] フィールドが検査されます。これは、証明書のチェーンである場合があります。指定できます。

4. **CFG - CFG_REQUEST/**
CFG_REPLY では、IKE
エンドポイントを使用して、ピア
の情報を要求できます。CFG_REQUEST 設定
ペイロードの属性がゼロ長でない
場合は、その属性
についての推奨として
考えることができます。CFG_REPLY
設定ペイロードがその値、または
新しい値を返すことがあります。また、
新しい属性を追加して、
要求したものを含まない場合があります。
要求側は、認識しない
属性が返された場合は
それらを無視します。このようなデバッグでは、
クライアントが CFG_REQUEST
でトンネル設定を要求
します。ASA は
EAP 交換が成功した後にだけ、
これに応答し、トンネル設定
属性を送信します。
5. **SAi2 - SAI2** は、IKEv1 の
フェーズ 2 のトランスフォーム セットの
交換に類似した SA を開始します。
6. **TSi** および **TSr** - 発信側と
応答側のトラフィック セレクタには、
暗号化されたトラフィックを転送
および受信するために、発信側と
応答側の送信元と宛先の
アドレスがそれぞれ含まれて
います。アドレス範囲は、
その範囲を対象とするすべてのトラフィック
がトンネリングされることを指定します。If the
が応答側に受け入れられる場合は、
同じ TS ペイロードを送り返し
ます。

クライアントがグループ認証用に提供する
必要がある属性は AnyConnect
プロファイル ファイルに保存されています。

****関連プロファイル設定:**

```
<ServerList>  
<HostEntry>  
  <HostName>Anu-IKEV2  
</HostName>  
  <HostAddress>10.0.0.1  
</HostAddress>  
  <UserGroup>ASA-IKEV2  
</UserGroup>  
<PrimaryProtocol>IPsec  
</PrimaryProtocol>  
</HostEntry>
```

</ServerList>

ASA は IKE_AUTH メッセージへの応答を生成し、クライアントに対して自身を認証するための準備を行

ASA はクライアントからユーザ クレデンシャルを要求するために、AUTH ペイロードを送信します。ASA はクライアントに送信することになります。これにより、クライアントは ASA サーバを認証できます。ASA には拡張性認証方式の使用を希望しているため、EAP ペイロードをメッセージ 4 に配置し、発信側送信を延期します。したがって、これらの 3 種類のペイロードはデバッグにありません。EAP パケットには次が含まれています。

1. **Code (コード) : request** - このコードはオーセンティケータによってピアに送信されます。
2. **id: 1** - ID は、要求への EAP 応答の照合に役立ちます。ここで、値は、EAP 交換の最初のパケットになります。これは ASA からクライアントに送信され、EAP 交換が開始されます。
3. **Length: 150** - EAP パケットの長さには、コード、ID、長さ、EAP データが含まれます。
4. **EAP データ**

フラグメンテーションは、証明書が大きいか、証明書チェーンが含まれている場合に発生する可能性があります。また、大きなキーが含まれている場合もあります。

クライアントは、応答という形で EAP 要求に応答します。
EAP パケットには次が含まれています。

1. **Code (コード) : response** - このコードは、EAP 要求への応答としてピアがオーセンティケータ
2. **id: 1** - ID は、要求への EAP 応答の照合に役立ちます。ここで、値は 1 です。これは、ASA (オーセンティケータ)。この EAP 応答は「config authn」タイプが「init」になります。クライアントが EAP 交換を初期
3. **Length: 252** - EAP パケットの長さには、コード、ID、長さ、EAP データが含まれます。
4. **EAP データ**

ASA はこの応答を復号化し、クライアントは前のパケット (および証明書) で AUTH ペイロードを受信
init」EAP 応答パケットに含まれているものです。

これは、ASA がクライアントに送信した 2 番目の要求です。

EAP パケットには次が含まれています。

1. **Code (コード) : request** - このコードはオーセンティケータによってピアに送信されます。
2. **id: 2** - ID は、要求への EAP 応答の照合に役立ちます。ここで、値は、EAP 交換の 2 番目のパケット「request」になります。ASA は、クライアントがユーザ認証クレデンシャルを送信するように要求
3. **Length: 457** - EAP パケットの長さには、コード、ID、長さ、EAP データが含まれます。
4. **EAP データ**

ENCR ペイロード:

このペイロードは復号化され、そのコンテンツは追加ペイロードとして解析されます。

クライアントが EAP のペイロードがある別の IKE_AUTH 発信側メッセージを送信します。
EAP パケットには次が含まれています。

1. **Code (コード) : response** - このコードは、EAP 要求への応答としてピアがオーセンティケータ
2. **id: 2** - ID は、要求への EAP 応答の照合に役立ちます。ここで、値は 2 です。これは、ASA (オー
3. **Length: 420** - EAP パケットの長さには、コード、ID、長さ、EAP データが含まれます。
4. **EAP データ**

ASA がこの応答を処理します。クライアントは、ユーザがクレデンシャルを入力するように要求している
このパケットにはユーザが入力したクレデンシャルが含まれています。

ASA は交換で 3 番目の EAP 要求を作成します。
EAP パケットには次が含まれています。

1. **Code (コード) : request** - このコードはオーセンティケータによってピアに送信されます。
2. **id: 3** - ID は、要求への EAP 応答の照合に役立ちます。ここで、値は EAP 交換の 3 番目のパケット「complete」になります。ASA は応答を受信し、EAP 交換が完了します。
3. **Length: 4235** - EAP パケットの長さには、コード、ID、長さ、EAP データが含まれます。
4. **EAP データ**

ENCR ペイロード:

このペイロードは復号化され、そのコンテンツは追加ペイロードとして解析されます。

クライアントは EAP ペイロードを含む発信側パケットを送信します。
EAP パケットには次が含まれています。

1. **Code (コード) : response** - このコードは、EAP 要求への応答としてピアがオーセンティケータ
2. **id: 3** - ID は、要求への EAP 応答の照合に役立ちます。ここで、値は 3 です。これは、ASA (オーセンティケータ)。これで、ASA はクライアントから応答パケットを受信します。この「config-auth」タイプは「auth」を受領を確認します。
3. **Length: 173** - EAP パケットの長さには、コード、ID、長さ、EAP データが含まれます。
4. **EAP データ**

ASA がこのパケットを処理します。これらのモジュールでの AUTH ペイロードを送信します。ASA は次のパケットでトンネル グループを送信する準備を行います。これは、クライアントが以前 IDi ペイロードで要求しています。ASA はクライアントから応答パケットを受信します。この「config-aut」タイプは「ack」です。これは、この応答で、ASA が前に送信した EAP 「complete」メッセージの

受信を確認します。

関連コンフィギュレーション

```
tunnel-group ASA-IKEV2
type remote-access
tunnel-group ASA-IKEV2
general-attributes
  address-pool webvpn1
  authorization-server-group
  LOCAL default-group-policy
ASA-IKEV2
tunnel-group ASA-IKEV2
webvpn-attributes
  group-alias ASA-IKEV2
enable
```

これで EAP 交換が成功しました。

EAP パケットには次が含まれています。

1. **Code: success** - このコードは EAP 認証方式の完了後にオーセンティケータがピアに送信します。認証方式を設定します。これは、ピアがオーセンティケータに正常に認証されたことを示します。
2. **id: 3** - ID は、EAP 応答の要求との照合に役立ちます。ここで、値は 3 です。これは、ASA (オーセンティケータ) が以前送信した要求への応答であることを示します。交換の 3 セット目のパケットが成功し、EAP 交換が成功しました。
3. **Length: 4** - EAP パケットの長さには、コード、ID、長さ、EAP データが含まれます。
4. **EAP データ**

EAP 交換が成功したため、クライアントは AUTH ペイロードを含む IKE_AUTH 発信側パケットを送信し

EAP 認証が指定されている、またはクライアント プロファイルで示唆されており、プロファイルに <IKEIdentity> 要素が含まれていない場合は、クライアントは固定文字列 *\$AnyConnectClient\$* を含む ID_GROUP タイプの IDi ペイロードを送信します。ASA がこのメッセージを処理します。

関連コンフィギュレーション

```
crypto dynamic-map dynmap 1000
set ikev2 ipsec-proposal 3des
crypto map crymap 10000
ipsec-isakmp dynamic dynmap
crypto map crymap interface
outside
```

ASA は、SA、TSi、および TSr のペイロードを含む IKE_AUTH 応答メッセージを作成します。IKE_AUTH の応答側パケットには、次が含まれています。

1. ISAKMP ヘッダー - SPI/バージョン/フラグ
2. AUTH ペイロード - 選択した認証方式が含まれる
3. CFG - CFG_REQUEST/CFG_REPLY により、IKE エンドポイントがピアの情報を要求できます。の推奨として考えることができます。CFG_REPLY 設定ペイロードは、その値、または新しい値がない場合もあります。要求側は、認識しない属性が返された場合は、それを無視します。ASA は、
4. SAr2 - SAr2 が IKEv1 のフェーズ 2 トランスフォーム セット交換と同様の SA を開始します。
5. TSi と TSr - 発信側と応答側のトラフィックのセレクトタには、暗号化されたトラフィックを転送および含まれています。このアドレス範囲は、宛先および送信元がこの範囲内であるすべてのトラフィック。応答側は同一の TS ペイロードを送り返します。

ENCR ペイロード:

このペイロードは復号化され、そのコンテンツは追加ペイロードとして解析されます。

ASA は、9 個のパケットに断片化されたこの IKE_AUTH 応答メッセージを送信します。IKE_AUTH 交換

接続はセキュリティ アソシエーション (SA) データベースへ入り、ステータスは REGISTERED になり、の有無など、いくつかの検査を行い、デッド ピア検出 (DPD) などの値を設定します。

トンネルの確認

AnyConnect

show vpn-sessiondb detail anyconnect コマンドの出力例を次に示します。

Session Type: AnyConnect Detailed

```
Username      : Anu                               Index        : 2
Assigned IP   : 10.2.2.1                           Public IP     : 192.168.1.1
Protocol      : IKEv2 IPsecOverNatT AnyConnect-Parent
License       : AnyConnect Premium
Encryption    : AES192 AES256                     Hashing       : none SHA1 SHA1
Bytes Tx      : 0                                 Bytes Rx      : 11192
Pkts Tx       : 0                                 Pkts Rx      : 171
Pkts Tx Drop  : 0                                 Pkts Rx Drop : 0
Group Policy  : ASA-IKEV2                         Tunnel Group  : ASA-IKEV2
Login Time    : 22:06:24 UTC Mon Apr 22 2013
Duration      : 0h:02m:26s
Inactivity    : 0h:00m:00s
NAC Result    : Unknown
VLAN Mapping  : N/A                               VLAN          : none
```

```
IKEv2 Tunnels: 1
IPsecOverNatT Tunnels: 1
AnyConnect-Parent Tunnels: 1
```

AnyConnect-Parent:

```
Tunnel ID     : 2.1
Public IP     : 192.168.1.1
Encryption    : none                               Auth Mode     : userPassword
Idle Time Out: 30 Minutes                         Idle TO Left  : 27 Minutes
Client Type   : AnyConnect
Client Ver    : 3.0.1047
```

IKEv2:

```
Tunnel ID     : 2.2
UDP Src Port  : 25171                               UDP Dst Port  : 4500
Rem Auth Mode: userPassword
Loc Auth Mode: rsaCertificate
Encryption    : AES192                               Hashing       : SHA1
Rekey Int (T): 86400 Seconds                       Rekey Left(T): 86254 Seconds
PRF           : SHA1                                D/H Group     : 1
Filter Name   :
Client OS     : Windows
```

IPsecOverNatT:

```
Tunnel ID     : 2.3
Local Addr    : 0.0.0.0/0.0.0.0/0/0
Remote Addr   : 10.2.2.1/255.255.255.255/0/0
Encryption    : AES256                               Hashing       : SHA1
```



```
Encapsulation: Tunnel
Rekey Int (T): 28800 Seconds           Rekey Left(T): 28654 Seconds
Rekey Int (D): 4608000 K-Bytes         Rekey Left(D): 4607990 K-Bytes
Idle Time Out: 30 Minutes              Idle TO Left : 29 Minutes
Bytes Tx      : 0                      Bytes Rx      : 11192
Pkts Tx       : 0                      Pkts Rx      : 171
NAC:
  Reval Int (T): 0 Seconds              Reval Left(T): 0 Seconds
  SQ Int (T)   : 0 Seconds              EoU Age(T)   : 146 Seconds
  Hold Left (T): 0 Seconds              Posture Token:
Redirect URL :
```

ISAKMP

show crypto ikev2 sa コマンドの出力例を次に示します。

```
ASA-IKEV2# show crypto ikev2 sa
```

IKEv2 SAs:

```
Session-id:2, Status:UP-ACTIVE, IKE count:1, CHILD count:1
```

```
Tunnel-id           Local                Remote              Status              Role
55182129           10.0.0.1/4500        192.168.1.1/25171  READY              RESPONDER
  Encr: AES-CBC, keysize: 192, Hash: SHA96, DH Grp:1, Auth sign: RSA, Auth verify: EAP
  Life/Active Time: 86400/112 sec
Child sa: local selector 0.0.0.0/0 - 255.255.255.255/65535
          remote selector 10.2.2.1/0 - 10.2.2.1/65535
          ESP spi in/out: 0x30b848a4/0x77ee5348
```

show crypto ikev2 sa detail コマンドの出力例を次に示します。

```
ASA-IKEV2# show crypto ikev2 sa detail
```

IKEv2 SAs:

```
Session-id:2, Status:UP-ACTIVE, IKE count:1, CHILD count:1
```

```
Tunnel-id           Local                Remote              Status              Role
55182129           10.0.0.1/4500        192.168.1.1/25171  READY              RESPONDER
  Encr: AES-CBC, keysize: 192, Hash: SHA96, DH Grp:1, Auth sign: RSA, Auth verify: EAP
  Life/Active Time: 86400/98 sec
  Session-id: 2
  Status Description: Negotiation done
  Local spi: FC696330E6B94D7F          Remote spi: 58AFF71141BA436B
  Local id: hostname=ASA-IKEV2
  Remote id: *$AnyConnectClient$*
  Local req mess id: 0                  Remote req mess id: 9
  Local next mess id: 0                 Remote next mess id: 9
  Local req queued: 0                   Remote req queued: 9          Local window:
1                                     Remote window: 1
  DPD configured for 10 seconds, retry 2
  NAT-T is detected outside
  Assigned host addr: 10.2.2.1
Child sa: local selector 0.0.0.0/0 - 255.255.255.255/65535
          remote selector 10.2.2.1/0 - 10.2.2.1/65535
          ESP spi in/out: 0x30b848a4/0x77ee5348
          AH spi in/out: 0x0/0x0
          CPI in/out: 0x0/0x0
          Encr: AES-CBC, keysize: 256, esp_hmac: SHA96
          ah_hmac: None, comp: IPCOMP_NONE, mode tunnel
```

IPSec

show crypto ipsec sa コマンドの出力例を次に示します。

```
ASA-IKEV2# show crypto ipsec sa
interface: outside
  Crypto map tag: dynmap, seq num: 1000, local addr: 10.0.0.1

  local ident (addr/mask/prot/port): (0.0.0.0/0.0.0.0/0/0)
  remote ident (addr/mask/prot/port): (10.2.2.1/255.255.255.255/0/0)
  current_peer: 192.168.1.1, username: Anu
  dynamic allocated peer ip: 10.2.2.1

  #pkts encaps: 0, #pkts encrypt: 0, #pkts digest: 0
  #pkts decaps: 163, #pkts decrypt: 108, #pkts verify: 108
  #pkts compressed: 0, #pkts decompressed: 0
  #pkts not compressed: 0, #pkts comp failed: 0, #pkts decomp failed: 0
  #pre-frag successes: 0, #pre-frag failures: 0, #fragments created: 0
  #PMTUs sent: 0, #PMTUs rcvd: 0, #decapsulated frgs needing reassembly: 0
  #send errors: 0, #recv errors: 55

  local crypto endpt.: 10.0.0.1/4500, remote crypto endpt.: 192.168.1.1/25171
  path mtu 1488, ipsec overhead 82, media mtu 1500
  current outbound spi: 77EE5348
  current inbound spi : 30B848A4

inbound esp sas:
  spi: 0x30B848A4 (817383588)
    transform: esp-aes-256 esp-sha-hmac no compression
    in use settings ={RA, Tunnel, NAT-T-Encaps, }
    slot: 0, conn_id: 8192, crypto-map: dynmap
    sa timing: remaining key lifetime (sec): 28685
    IV size: 16 bytes
    replay detection support: Y
    Anti replay bitmap:
    0xFFAD6BED 0x7ABFD5BF
outbound esp sas:
  spi: 0x77EE5348 (2012107592)
    transform: esp-aes-256 esp-sha-hmac no compression
    in use settings ={RA, Tunnel, NAT-T-Encaps, }
    slot: 0, conn_id: 8192, crypto-map: dynmap
    sa timing: remaining key lifetime (sec): 28685
    IV size: 16 bytes
    replay detection support: Y
    Anti replay bitmap:
    0x00000000 0x00000001
```

関連情報

- [RFC 4306、Internet Key Exchange \(IKEv2 \) プロトコル](#)
- [RFC 3748、拡張可能認証プロトコル \(EAP \)](#)
- [RFC 5996、Internet Key Exchange Protocol Version 2 \(IKEv2 \)](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)